
『SELF』

梅花空木

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『SELF』

【Nコード】

N6581J

【作者名】

梅花空木

【あらすじ】

大学生になり、それまでずっと一緒だった幼なじみと離れた宇宙^{ひそし}。彼は、『自分』がわからなくなっていた…。

キミがいないと不安定で、『自分』が出せない、定まらない。オレがこんな情けない奴だって知ったら、キミはどうするのだろう。

「なあ、最近どうしたよ？」ぼーっとしていた俺の顔を悪友・名矢^{なや}が覗き込んできた。

「…あ？んー…まあこれでも一応悩めるお年頃ですから？」わざとおどけて冗談めかして返すが、気持ちは妙に冷めていて、笑顔がぎこちないものになる。しかし、名矢にはそれで充分だったらしく、「ククツ…なんだそりゃ！でもそうでなきゃピロらしくねえよな。」俺の肩をバシバシ叩き、満足そうに名矢が笑う。

オレの名前は、仲道^{なかつみち} 宇宙^{ひろし}。あだ名は、ピロシキからとってピロ。でも、つくづく名前負けだなあと思う。たまに、こんな名前をつけた親を恨めしく思ったりもする。だってオレは、『自分』もわかってなくて、偽りの『自分』を振り撒く小さい奴なのに。それにさえ、最近やっと気づいたところなのに。

「俺らしい…ね。俺らしいってのは、どんなだ？」半ば投げやりに聞く。

「ん？そうだなあ…以前は、もっと明るくて、おもしろかったじゃん？俺がボケてもツツコミ入れてくれたし！」名矢がいたずらっぽく笑う。

でも名矢が言うオレは全部偽りだ。

「それはそうと！もうすぐだな、パーティーとやろうぜ！！」名矢が待ちきれないという様子で言う。

「何か…あつたっけ…？」（まあ多分オレには関係ないな。）と心の中で片づけようとすると、

「だーから！ホントどうしちゃったわけ？ピロの誕生日じゃん！」「名矢が大声を張り上げる。

「誕生日…。」オレの誕生日のこと兎^{うた}兎^たは覚えていてくれるだろう

か。それともオレのこと自体さっぱり忘れているだろうか。

兎朶とは、大学へ入る前までずっと一緒だった幼なじみ。当たり前
に隣にいたから、これからもずっとそうなのだと思っていた。離れ
てみて初めて、兎朶がいらないと『自分』が保てないってこともわか
ったんだ。兎朶、こんなオレをキミは笑うだろうか。

「…ロ…ピロってば！で、何がいいんだ？」名矢の喧しい声で我に
返る。

「…や、別にプレゼントとかこの歳でいらねえし。第一、男同士で
プレゼント贈り合うとかキモくね？」大袈裟に溜め息をつきながら
言っていると、

「なんだよっ！ヒトがせつかくさあ。…でも、確かにそうかもな。」
うんうんと名矢が頷く。

誕生日当日。12：00ピッタリに名矢からハデハデデコメのB
irthdayMailが着た。それに目を通しつつも、頭の中は兎
朶に忘れられているかもしれないという不安でいっぱいだ。

その後も着信もないのに、携帯を開けたり、閉めたり。

（兎朶にとってオレはその程度だったのか。）不安と孤独が交互に
押し寄せる。

朝6：00。眠れるはずもなく、携帯を眺めていると、兎朶からの
Mailが着た。急いで読む。

内容は、近況報告、激励、Happy Birthdayの文字の画
像。シンプルだが、名矢のMailなんかよりも、百万倍嬉しくて、
何回も何回も読み返す。お礼Mailも忘れない。しかし、こんな
に喜んだことは照れ臭いので兎朶には秘密だ。涙が自然に溢れる。

どんなにはなれていても、キミは変わっていなかった。だから、オ
レも変わらない。今は『自分』がわからないけど、ちゃんとこれが
そうだと言える様になる。そして、頑張っているキミに少しでも追

いつけたら……。オレのスタートはそこなんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6581j/>

『SELF』

2010年10月21日23時14分発行